



ほっかいどう つゆ  
**北海道になぜ梅雨はないの**

もつと あめ  
**最も雨がふりつづくとき**

毎年、6月から7月にかけて、雨が最もふりやすい時期を「梅雨」といいます。「ばい  
う」「つゆ」とよばれています。沖縄や小笠原は5月から6月が梅雨です。

梅雨は日本だけでなく、中国の揚子江流域にもみられ、梅雨というよび名も中国から伝  
わったものです。梅の実が大きくなるころの雨、という意味です。

つゆ ばいうぜんせん  
**梅雨をもたらす梅雨前線**

オホーツク海方面のつめたい気団と、日本の南の海上の暖かくしめった気団が、日本の  
上空で出あってできる梅雨前線が、雨をふらせることを梅雨といえます。

この梅雨前線は、日本の南側の亜熱帯高気圧と、北側のオホーツク海高気圧にはさまれ  
日本上空に長くとどまるため、長い間、雨が  
つづくのです。

ほっかいどう つゆ すく  
**北海道では梅雨が少ない**

北海道には、雨をふらせる梅雨前線がかか  
ることが少なく、そのため、北海道には梅雨  
がないなどといわれているのです。しかし、  
年によっては前線がかかって雨が多く降り、  
「えぞつゆ」とよばれています。

(監修 村山貢司)

